

RIP処理前のデータの入稿に関する説明

平成30年 4月02日 改訂

入稿したデータを正確かつ円滑に出力するよう努めますが、弊社にてOutlinePDF-advanceに変換するため、出力した際、極稀に出力結果が異なる場合がございます。それを避けるためにもお手数ですが出来る限り下記の処理をされたうえで入稿していただきますようお願いいたします。
また、同じデータでも弊社以外でOutlinePDF-advanceの変換を行った場合の結果に対する差異の責任は負いかねますのでよろしくお願い致します。

※入稿データについて

◎フォントエラー防止のため

- ・フォントは全てアウトライン化してください。
- ・孤立点は全て削除してください。

◎リンクされている部品に対してのエラー防止のため

- ・リンクされている画像等の部品は全て埋め込みの状態にしてください。
- ・リンク部品等は入稿しないでください。
- ・RGB画像は全てCMYKに変換しておいてください。

◎色数と特色名について

- ・出力に不要な色は削除していただき、出力に必要な色数と入稿するデータの色数を同じにしておいてください。
- ・特色を使用される場合は特色の名前の中に "&," もしくは名前の先頭か末尾にスペースが入っていると変換時にエラーとなりうまく書き出せなくなりますので使用しないでください。

◎ノセについて

- ・スミ文字等のノセは基本的に弊社にてオーバープリント等の処理をしておいてください。
- ・弊社にてスミ文字等をノセにする処理をする場合は事前に連絡してください。
- ・弊社にてノセの処理ができるのはスミ100%の部分と弊社にてオーバープリント等の処理がされている部分です。（注意：0%のオーバープリントは透明扱いとされるため下にあるオブジェクトが出てきます）
- ・弊社にてノセの処理をする場合、部分的にノセの処理をすることができず全体に対して処理されますので万が一、ノセになってはならない部分が弊社にてオーバープリント等の処理がされていますとその部分もノセになってしまいますのでご注意ください。

◎透明効果の多様化によるエラー防止について

○ファイルが1点でも透明効果の処理をされている箇所が多いとデータそのものが複雑になり出力演算中にエラー終了してしまう事例が報告されていますので以下の点にご注意ください。

- ・スミノセ処理に透明効果の機能を使わないでください。
- ・拡張子が【.psd】のままの画像を配置しないでください。
- ・複雑なオブジェクトに対しての透明効果の処理は避けてください。

◎ページ面付けについて

- ・ページ物の場合、弊社では大貼りは可能ですがページ面付けはできかねますのでページ面付けされた状態で入稿してください。

◎保存形式について

- ・フォーマットは "PDF," で保存してください。
- ・1つのPDF内に複数のファイルを保存させる場合は必ず仕上りサイズが同じもの同士で保存してください。
- ・準拠する規格は "PDF/X-1a," 又は "PDF/X-4," を推奨します。

◎入稿時間について

- ・校正納期が翌日の昼までの場合は原則的に前日の19:00までに入稿してください。
- ・万が一、19:00を過ぎてしまうようであれば担当営業までご相談ください。
- ・尚、弊社のサーバへのデータ転送は24時間可能です。

◎再入稿について

- ・万が一、データ不備（4cなのにトンボがBkのみだった等）やRIP処理中に何らかの原因でエラーが発生し処理が中断された場合、弊社では入稿データを修正するDTPアプリケーションが一切ございませんので弊社にて修正後、再入稿という形をとらせていただきます。よって、時間帯によってはやむを得ず納期調整をさせていただく場合がございますのでご了承ください。

(株) 八美

TEL:03-3814-1461
FAX:03-3814-1074

CTP出力センター直通
TEL:03-5801-0850
MAIL:hachibi-ctp@gate02.net